

先週の国内株式市場と今後の見通しについて

- 新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、先週の東証株価指数（TOPIX）は1.7%（前週比）上昇しました。
- 年初来の高値圏から約25%下落しており、欧州を中心に感染拡大で経済活動が停止し始めている地域もあることから、懸念が広がる前の水準まで回復するには、相応の期間を要すると思われます。

先週の市場動向（3/16～3/19）

- 先週の東証株価指数（TOPIX）は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大が続いていることから、不安定な値動きの大きい展開が続き、3/17に一時1,200ポイントを割り込みました。しかし、各国が協調して矢継ぎ早に対策を打ち出していることなどから、前週末対比で見ると1.7%上昇しました。
- 日銀は、3/16に開催した金融政策決定会合で、ETF（上場投資信託）の買い入れ額を現行年間6兆円から、当面の間年間12兆円に増額しました。米国で最大1兆ドル規模（約110兆円）の景気対策が検討されて始めています。現時点では市場の反応は限定的ですが、次第に落ち着きを取戻す展開になれば、優良銘柄や割安になった銘柄を中心に株価は回復してくるとみえています。

東証株価指数（TOPIX）の推移



過去の東証株価指数（TOPIX）の下落局面から回復までの事例

- 過去の東証株価指数の急落局面となったSARS流行時は経済を停止するような事態にはならなかったこともあり、比較的早期の回復となりましたが、リーマンショックでは、その後ギリシャ問題や欧州債務危機が発生した影響もあり、急落前の水準を回復するには約4年を要しました。今回の感染拡大による市場の混乱状況と単純に比較することはできませんが、リーマンショックに近づく下落相場となっており、回復にはかなりの時間を要すると思われます。（下グラフをご参照ください）

今後の見通し

- 国内株式市場は、引き続き、混乱した状況が続くとみえています。回復に時間を要すると思われますが、市場が落ち着きを取り戻すに伴い、優良な銘柄を物色する流れなどが強まり、次第に株価は回復に向かい始めると考えています。
- 東京オリンピックの開催については、日本以上に欧州各国において感染拡大が深刻な状況となっているため少なくとも延期されるとの見方が、ある程度市場に織り込まれており、仮に、延期されても市場への影響は限定的と考えています。

SARS流行時のパフォーマンスの推移*



リーマンショック後のパフォーマンス推移*



* 東証株価指数（配当込み）指数を使用しています

出所：FactSetデータをもとに明治安田アセットマネジメント作成

※ 当資料の内容は、過去の実績および作成時点での弊社見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※ 裏面の「ご留意事項」を必ずご覧ください。

明治安田アセットマネジメント

明治安田アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第405号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

<ご留意事項>

- 当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。
- 投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。